

若手会員の会 活動報告

<http://jweld.jp/welnet/index.html>

(若手会員の会からのお知らせはホームページにも掲載しています)

令和元年度 第1回 若手会員の会研究会・施設見学会の報告

若手会員の会運営委員会 委員 近藤わかな (ダイヘン)

Report: The 1st young researcher group seminar and visitation in 2019

若手会員の会では、大学や企業などの溶接・接合分野に関わる若手研究者・技術者の交流や連携を促進することを目的として、毎年3回程度の研究会・見学会を開催しています。

本年度は、令和元年7月19日に住友重機械工業株式会社 横須賀製作所にて第1回若手の会研究会および施設見学会を開催しました。今回は若手会員の会運営委員以外にも積極的に開催案内を回したこともあり、初めてご参加される方が増え、若手会員の横のつながりをさらに広めることができました。当日は、以下のプログラムにより研究会として3件の研究講演を行い、その後同社事業所内にて船舶の製造現場を見学しました。

1. 開催日時：

令和元年7月19日(金) 13:00～17:00

2. 開催場所：

住友重機械工業株式会社 横須賀製作所
(神奈川県横須賀市夏島町19番地)

3. プログラム

○研究会(参加者：20名)

13:00 開会の挨拶 大阪大学 荻野 陽輔 氏

13:05 「巨大プラント建設における

溶接施工管理の現状」

日揮株式会社 笠原 岳 氏

13:40 「大出力レーザー溶接における

高温割れ防止工法の開発」

株式会社ナ・デックスプロダクツ 出口 貴大 氏

14:10 「スマートなものづくりを実現する

溶接工程見える化に向けた取り組み」

住友重機械工業株式会社 笠野 和輝 氏

14:35 フリーディスカッション

○見学会(参加者：20名)

15:00 「住友重機械工業株式会社 会社紹介」

住友重機械工業株式会社 丹野 康雄 氏

「住友重機械工業株式会社 横須賀製作所紹介」

住友重機械マリンエンジニアリング株式会社

阿折 幸康 氏

研究講演では、まず日揮株式会社 笠原岳氏より、「巨大プラント建設における溶接施工管理の現状」と題し、ご講演をいただきました。巨大プラント建設の全体の流れや建設現場の抱える課題などについて報告されま

した。参加者からは進捗の管理方法や溶接施工の自動化に対するネック事項など多くの質問があり、活発な議論が行われ、高い関心が寄せられました。

続いて、株式会社ナ・デックスプロダクツ 出口貴大氏より、「大出力レーザー溶接における高温割れ防止工法の開発」と題し、ご講演をいただきました。セラミック当て材とフラックスを用いることでレーザー部分深溶込み溶接時における高温割れを防止できること、そしてそのメカニズムについてご報告されました。参加者からは、フラックスの量が溶込み深さや高温割れに与える影響に関する多くの質疑応答がなされました。

最後に、住友重機械工業株式会社 笠野和輝氏より、「スマートなものづくりを実現する溶接工程見える化に向けた取り組み」と題し、ご講演をいただきました。スマートなものづくりとは何か、そしてそれに向けた取り組みについてご報告されました。参加者からはスマートなものづくりに必要な情報やその使い方など活発な意見交換が行われました。

見学会は、住友重機械工業株式会社ならびに横須賀製作所をご紹介いただいたあと、船舶の製造現場を見

学させて頂きました。研究講演であったスマートなものづくりに向けた溶接施工の管理に関することや、リーン生産方式の導入、実際に溶接されている現場など間近で見学させて頂きました。特に溶接施工管理の一環として行っている、「アークタイム」の集計による作業進捗の見える化に対する取り組みは、参加者の興味を集めて、多くの質疑応答がなされました。

研究会・見学会終了後は、参加者同士で懇親会を行いました。参加者の近況報告や最近の溶接・接合分野の動向や展開などについて、参加者の自己紹介も交えながら話題が交わされ、明るく活発に交流する大変貴重な機会となりました。

最後に、本研究会・見学会の開催にあたり、事前の調整や当日ご対応頂きました笠野 和輝氏、阿折幸康氏、松井倫太郎氏はじめ、住友重機械工業株式会社横須賀製作所様に会場のご提供および工場見学にご対応に多大なご協力を賜りました。改めて、ご支援、ご協力頂きました皆様に対し、若手会員の会運営委員一同、ここに深く感謝の意を表します。



写真1 研究会風景



写真2 集合写真